株式会社JALスカイ

健康宣言

JALスカイは健康経営に全力を挙げて取り組みます。

JALスカイは高品質な空港サービスで挑戦を続けていく会社です。「持続可能な成長・発展」の実現を目指す原動力となる人財と組織風土を創出し、最高のサービスをお届けすることで、お客さまから選ばれ続ける企業を目指していきます。
そのためには、すべての社員とその家族が心身ともに健康で働き甲斐にあふれ、そして社会的にも健康であることが極めて重要です。「全社員の物心両面の幸福」という企業理念を実現するために、社員・会社・健康保険組合が一体となって取り組むことを宣言いたします。

株式会社JALスカイ
代表取締役社長　斉藤 久美子

1. 健康経営の目的

（1）健康経営で解決したい経営上の課題と期待する効果

- 社員個人のパフォーマンス向上
  より良いサービスの提供と会社の成長発展に、プレゼンティーイズム(生産性低下率)の改善の実現が課題となっている。
  プレゼンティーイズム改善により個人のパフォーマンスが向上し、最高のサービスの提供と会社の発展に寄与することを期待する。

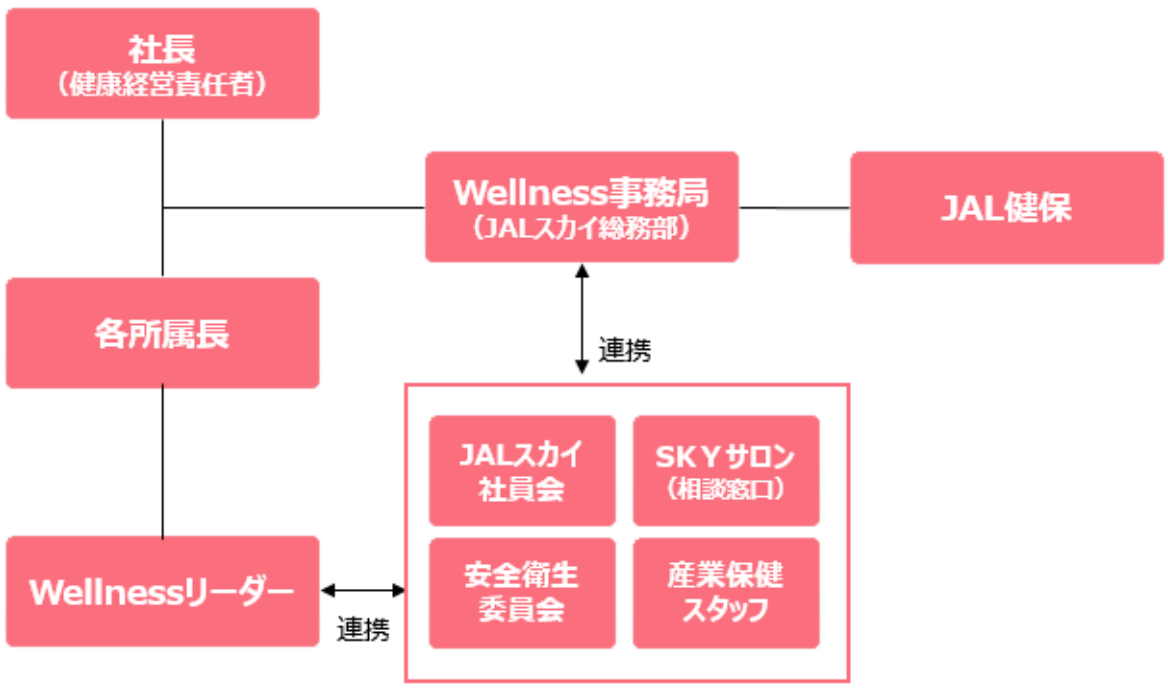
（2）健康経営全体の具体的な目標指標

最終的な目標指標	測定方法	2022年	2023年	2024年	2025年	最終目標値(2030年)
アブセンティーイズム	従業員アンケートによる体調不良での年間欠勤日数	2.9日	3.8日	3.5日	3.2日	3.0日以下
プレゼンティーイズム	東京大学1問方式による生産性低下率	-28%	-26%	-25%	-25%	-20%以下
ワークエンゲージメント	新職業性ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問（2項目）による把握	2.5	2.7	2.8	2.8	3.0以上

※業務パフォーマンス指標に関する測定人数および回答率について（2025年実績値）
アブセンティーイズム、プレゼンティーイズム、ワークエンゲージメントともに全社員（3,146名※2025年7月時点）を対象に実施し、2,740名が回答（回答率：87.0%）

【目標設定の背景】
これまでも健康推進の取り組みは行っていたが、経営課題への効果を客観的に把握することが難しかったため、年に1回全社員を対象にアンケートを実施し具体的な目標として数値化することとした。

2. JALスカイWellness推進体制



3. 健康経営の取り組み

（**1**）健康課題

- 「JAL Wellness 2030」における5つの重点課題

日本航空健康保険組合のデータヘルス計画を踏まえ、グループ全体として、「JAL　Wellness　2030」を策定し、「ライフスタイル」「ウェルボディ」「がん」「メンタルヘルス」「未来の健康」を重点課題として定めています。

当社は、健康保険組合から毎年提供される「Wellnessレポート」の結果を踏まえ、当社として特に対策が必要な重点課題を以下に定め、取り組むこととしています。

取り組み目標と設定背景



（**2**）数値目標

①健康課題に対する指標および目標値

健康課題	指標	対象者	2022年	2023年	2024年	2025年	最終目標値（2030年）
ライフスタイル	肥満率	男性	24.3%	22.9%	25.6%	28.8%	適正体重維持率
		女性	6.8%	7.3%	9.0%	9.1%	70%以上
	喫煙率	男性	9.5%	5.9%	6.0%	8.6%	20%未満
		女性	2.5%	2.2%	2.2%	2.6%	3%未満
ウェルボディ	特定健診受診率	家族（40歳以上）	51.6%	58.3%	62.9%	61.0%	75%以上
	特定保健指導実施率	社員（40歳以上）	63.2%	74.3%	70.0%	71.7%	75%以上
がん	胃がん検査受診率	社員（35歳以上）	57.2%	56.1%	56.6%	53.4%	70%以上
		再検査受診率	0%	50%	100%	62.5%	90%以上
	大腸がん検査受診率	社員（35歳以上）	56.7%	60.2%	63.9%	57.5%	80%以上
		再検査受診率	21.2%	43.1%	47.5%	40.9%	90%以上
メンタルヘルス	高ストレス者割合	社員	18.0%	13.8%	12.3%	12.4%	10%未満
未来の健康	乳がん検査受診率	女性社員（18歳以上）	67.7%	62.4%	60.1%	58.9%	70%以上
		再検査受診率	50.0%	50.0%	56.7%	56.8%	90%以上
	子宮がん検査受診率	女性社員（18歳以上）	60.5%	56.3%	55.4%	55.2%	60%以上
		再検査受診率	59.0%	59.0%	31.1%	32.9%	90%以上
	痩せ	女性社員（34歳以下）	28.8%	26.4%	23.9%	23.4%	20%未満

②健康・就業関連の指標および目標値

健康項目	指標	対象者	2022年	2023年	2024年	2025年	最終目標値（2030年）
健康リテラシー	e-learning受講率	社員	89.5%	65.6%	77.6%	85.9%	90%以上
Wellness活動	Wellness活動の実施割合	社員	100%	100%	100%	100%	100%
ライフスタイル	運動習慣	社員	62.3%	65.3%	66.8%	70.0%	80%以上
	休養が取れる睡眠	社員	52.2%	55.2%	56.9%	57.7%	80%以上
	適度な食べる速度	社員	70.2%	71.0%	71.4%	72.0%	70%以上
	適度な飲酒習慣	社員	97.5%	97.1%	98.9%	男性：97.7% 女性：93.7%	100%

③その他、健康・就業関連の指標

健康・就業関連 指標	2022年	2023年	2024年	2025年
定期健康診断受診率	100%	100%	95.2%	100%
ストレスチェック受検率	99.9%	100%	97.1%	96.1%
メンタルヘルス不調に伴う休職者の割合	3.7%	4.1%	2.6%	3.1%
定期健康診断後の精密検査受診率	36.6%	35.4%	31.7%	38.0%
ハイリスク者の管理率	33.3%	73.3%	27.2%	77.9%
有所見者率	29.9%	34.4%	34.4%	25.0%
有給休暇取得率	80.7%	101.2%	88.6%	94.3%
年間平均残業時間（年間総残業時間÷社員数）	2.7時間	2.7時間	2.7時間	1.9時間
平均勤続年数（正社員）	7.3年	7.3年	7.9年	7.5年

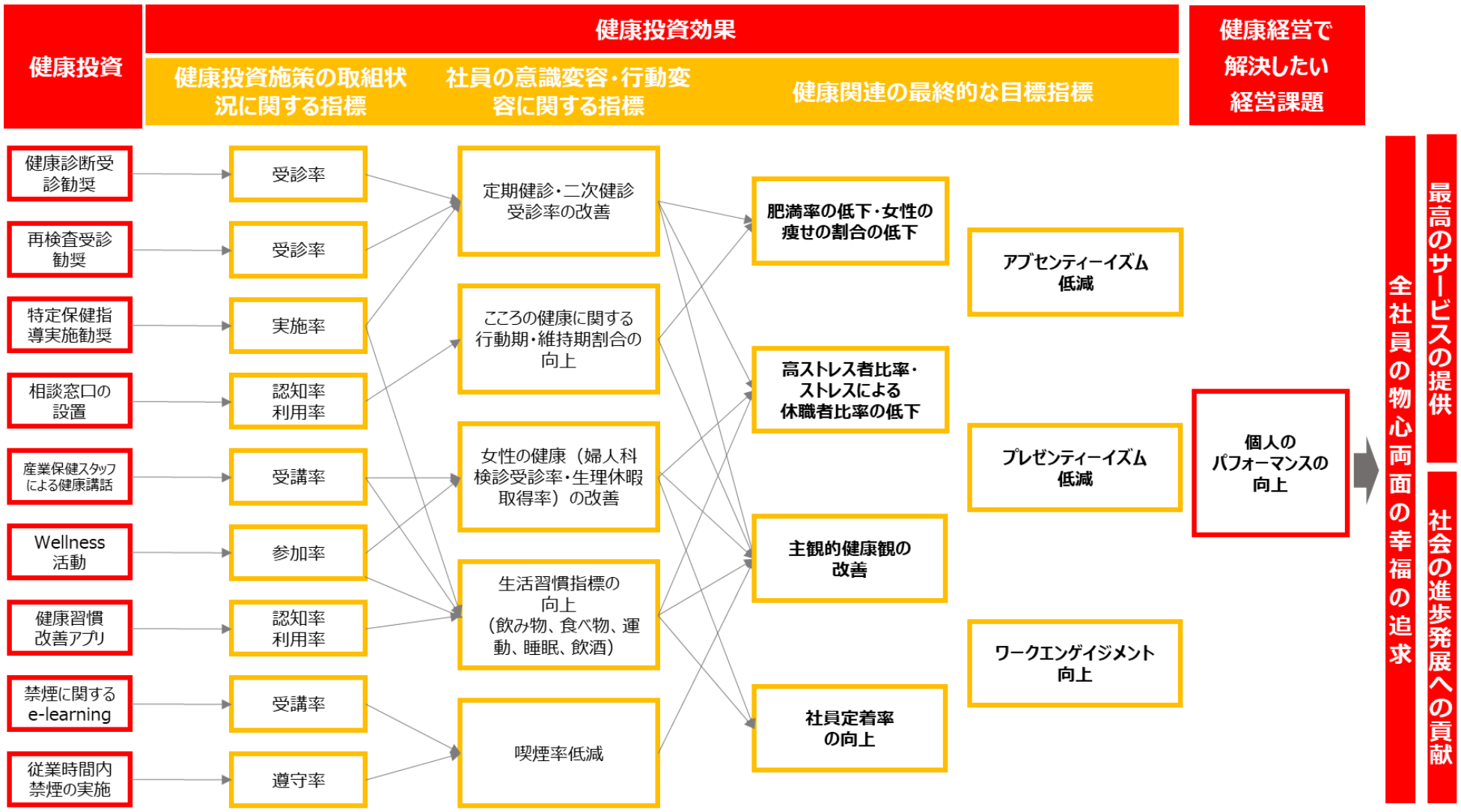
（3）2025年度健康施策

	取り組み内容と結果	実施目的	投資額
1	全従業員対して、社長からの健康に関するメッセージ（健康経営方針や進捗、社長自身の健康づくり、等）を発信	健康経営の社内浸透	—
2	定期健診、特定健診、任意健診（対象者）への受診勧奨の実施 ■e-mailにて対象者全員に必要性の発信と受診促進（4月・10月） ■Wellnessリーダー（Wellness活動を推進するリーダー）によるリマインダーの発信（通年）	生活習慣病・がん・女性の健康における検診受診率向上	健診費等 2,290万円
3	再検査・要精密検査・要治療者への産業保健チームからの個別の検診受診案内と受診結果報告の義務付け（9月～3月）	生活習慣病・がん・女性の健康における検診受診率向上	—
4	特定保健指導実施対象者への個別の実施勧奨（通年）	生活習慣病予防のための特定保健指導実施率の向上	—
5	インフルエンザワクチンの接種勧奨と費用補助（10月～2月）	感染症予防	155万円
6	JALスカイ相談窓口「SKYサロン」の開設（通年） カウンセラーによる「カウンセラー相談会」の継続設置と社員周知 管理職層への理解促進	高ストレス比率の低下	36万円
7	外部講師による全社員を対象としたWellness研修をオンライン開催 （参加満足度：82.0%）	参画意識の向上 健康リテラシー向上	—
8	全社員を対象とした女性の健康に関するセミナーの動画配信を実施	女性の健康 健康リテラシー向上	—
9	Wellness活動 ①ウォーキングイベント (4月～5月、1月～2月) 参加者数　745名	Wellness活動の推進 コミュニケーション向上 生活習慣病予防 運動習慣の向上	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ費 （費用補助）等 10万円
	②本気のラジオ体操！ ・現業、間接共に定期的に実施		

	③健康増進のためのスポーツイベント開催や情報発信 ・Wellnessリーダーが中心となり、スポーツイベントや健康に関する情報を記載したWellness通信を発信 ・ストレッチ講座、ウォーキングセミナー、セラピー犬イベント ・乳がん子宮頸がん健診講座、メンタルセミナー等		
10	①就業時間内禁煙制度の継続実施	喫煙率の低下	―
	②禁煙に関する「たばこセミナー」の動画配信を実施		―
11	企業説明会において、当社の健康経営の取り組みを紹介	健康経営の普及 地域のWellness活動	―
12	取引先における健康経営の支援 ・労働災害によるけが防止のための意見交換 ・生産性向上に関する取り組みの共有	労働災害の防止 健康経営の普及	

（4）健康経営推進の戦略マップ

健康経営の目的を達成するため、計画から施策実行、評価・改善までのPDCAの各フェーズについて、経営会議において役員などが確認、協議、決定を行っています。



4. 労働安全衛生・リスクマネジメント

（1）労働安全衛生方針

- JALスカイの全ての事業所、そこで活躍する全社員、職場をともにする委託先や協力先も含めて安全衛生の体制を強化します。
- 安全衛生関係法令に則り、各事業所において統括安全衛生管理者、産業医、衛生管理者を選任するとともに、「安全衛生委員会」では社員会代表も加えて労使が一体となって労働安全衛生活動を推進します。
- 安全衛生担当者を設け、リスクアセスメントの実施、ヒヤリハット事例の共有などを行い、再発防止やリスクの低減に努めます。
- この労働安全衛生方針はJALスカイWellness事務局で策定し、「安全衛生規程」等の社内規程、および各事業所の労働安全衛生活動の指針とします。

（2）危険源の特定・リスク評価

労働災害等の危険源を特定し、必要な対策を講じています。

項目	取組み内容
職場巡視	・各事業所において、毎月衛生管理者と産業医による職場巡視を実施
腰痛防止	・新入社員教育にてフィットネストレーナーによる腰痛防止セミナーを実施 ・既存社員向けに体の負担が少ない荷物の持ち方に関する教育を実施 ・重たい荷物を扱う手荷物返却場の職場環境改善
転倒防止	・フィットネストレーナーによる本気のラジオ体操を月2回実施（成田） ・転倒対策にポスターと注意喚起のカラーテープを貼付

（3）労働安全衛生に関する指標

指標	対象者	2022年	2023年	2024年	2025年
労働災害 ※()内は通勤災害内数	羽田事業所 成田事業所	17件(4) 22件(9)	17件(2) 16件(4)	16件(2) 10件(6)	22件(7) 9件（1）
安全衛生委員会	羽田事業所 成田事業所	12回 12回	12回 12回	12回 12回	12回 12回